

海外安全対策情報
2018年4月～6月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

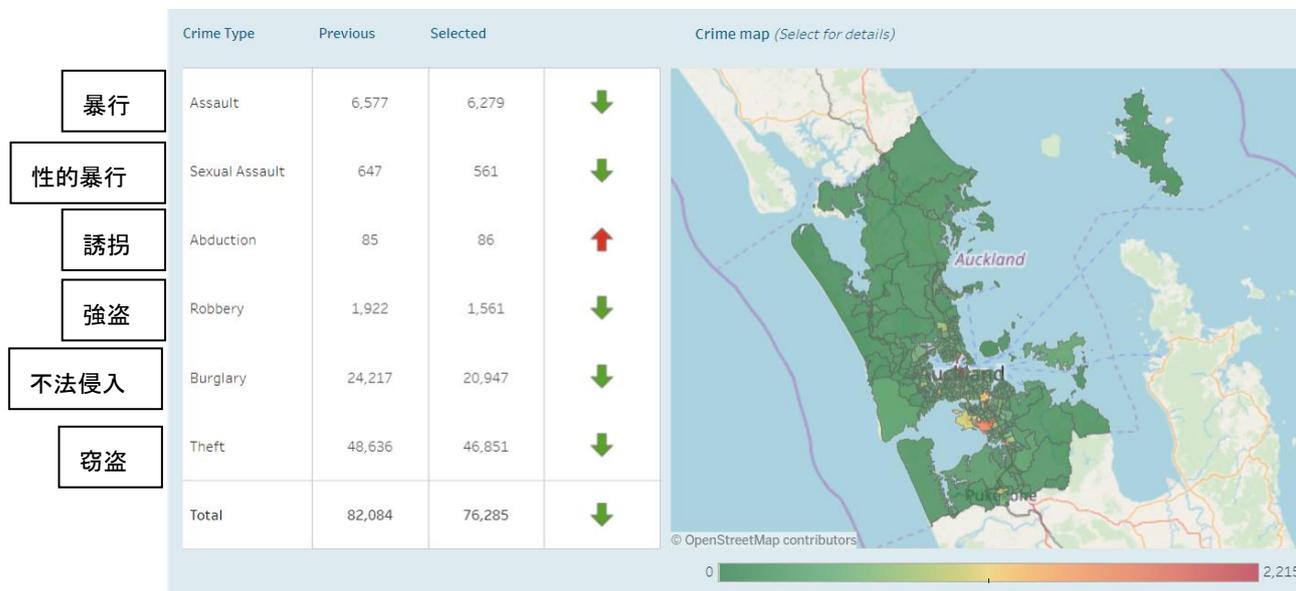
(1) 一般治安関係

NZ国内では、これまで大きな治安上の問題は起きていません。

しかし、NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー同士の抗争も発生しているため、争いに巻き込まれることのないよう繁華街等では、特に注意してください。このほかNZ国内での覚醒剤押収量が前年比3倍増となるなど、薬物汚染が社会問題化しています。NZ政府は治安対策強化のため、今後4年間で約1,100名の警察職員増員(約10%増)を決定し、組織犯罪対策や各種犯罪の対策を行っています。

(2) オークランドの犯罪傾向

2017年6月～2018年5月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。



<https://www.police.govt.nz/crime-snapshot>

(3) 地図で見る犯罪発生件数

2016年6月10日、NZ HERALD紙はウェブサイトにて「地図で見る犯罪発生件数」を掲載しました。下記リンクにアクセスして、あなたがお住まいの地域の状況をチェックしてみてください。

<http://insights.nzherald.co.nz/article/assaults-in-public-places>



2 テロ・爆弾事件発生状況

(1) ニュージーランド国内には、テロ組織及び反政府武装勢力の存在は確認されておらず、国外のテロ組織と関連を有している勢力の存在も確認されていません。しかしながら、2014年11月、ジョン・キー首相（当時）はISILに関する講演の中で、「ニュージーランド国民は国際テロリズムの危機と脅威にさらされている」と発言しています。

(2) ニュージーランド政府は2015年2月にイスラム過激派組織ISILと闘うイラク軍の能力を高めるため143名の軍人派遣を決定しました。これに関連して、キー首相は「すでにISILはニュージーランドで要員のリクルートに成功しており、またニュージーランド国内では35~40名が監視対象となっている」旨発言しています。

(3) 2015年11月にパリで発生したテロ事件を受け、キー首相は次のように述べています。

「ニュージーランドは他国から地理的に離れていること及びインテリジェンス監視ネットワークに加盟していることもあり、他国と比べ、テロリストから攻撃を受ける脆弱性は低い。しかしながらテロリストの間で行われる精巧な通信技術の高まりにより、その活動

を探知することが困難な状況となっており、ニュージーランドがまったく影響を受けないという保障はない。政府はニュージーランド国民に対して、全力を尽くす責任を負っており、異常で不相当と考えるいかなる行動についても監視するが、その全ての情報を得られるという保証はない。」

(4) また、「NZの大学で工学を学んだ留学生が、海外で自爆テロ用の爆弾を製造していた」、「アメリカ政府が中東在住のニュージーランド人を国際テロリストに指定した」といった報道もみられます。

(5) なお、現在ニュージーランドのテロ脅威度は「とても低い(6段階中下から2番目)」から「低い(6段階中下から3番目)」に一段階上昇しています。

3 当地の主な事件・事故

(1) 誘拐詐欺

警察は中国人コミュニティーや留学生をターゲットとした電話詐欺に注意するよう呼びかけている。

電話の内容は「ニュージーランドに住んでいる家族が誘拐にあった」と中国総領事館を装った録音メッセージが流れ、音声の指示にしたがうとオペレーターが個人情報や中国の家族の情報を訪ねてくるもの。個人情報を取得後、中国の家族に対し、ニュージーランドに住んでいる家族を誘拐したとして、身代金を要求する電話をする手口。

このような電話を受けた場合、簡単に個人情報を教えないこと、また怪しいと思った場合はすぐに電話を切るように警察は呼びかけている。

(2) DHL 詐欺

警察は DHL を装う電話詐欺に注意するよう呼びかけている。

電話の内容は中国語で「DHL が荷物を保管しているので、オペレーターに繋ぐ為、ダイヤル 9 を押してください」とアナウンスされ、指示に従ってダイヤルを押すと個人情報を搾取されるもの。

このような電話を受信した場合、注意すべき点は次の通り。

- ・電話をすぐに切る
- ・不審に思った場合、相手に対し電話の内容を再確認すること
- ・個人情報は財布や貴重品と同じ。個人情報を知られた場合、詐欺師達はあなた名義でローンを組んだり、お金を借りたりすることができる。
- ・IRD, Immigration NZ, 銀行などはテキストや電話、メールなどで口座番号やパスワードを聞いたり、送金を指示することは絶対がない。

(3) 偽装紙幣に注意を

パーマストンノース警察は偽装紙幣が出回っていることについて、市民に注意を呼びかけている。

現在確認できる限りで、5月14日から8枚の\$50紙幣の使用がパブ、スーパーマーケット、ガソリンスタンドで発見された。

偽造紙幣だと思われた場合、相手に対し紙幣を受け付けられないと丁寧の対応する事、自分や周りに危険をさらすような行動はせず、速やかに警察に連絡をするように呼びかけている。

4 日本人が巻き込まれた案件

場所 オークランド市内ショッピングセンター

被害者 日本人女性（50代）

ショッピングセンター内のATMで現金数百ドルを下ろした後、隣接したスーパーマーケットで買い物を済ませ駐車場へ向かった際、男数人に囲まれカバンを強奪される。犯人らは被害者がATMで現金を入手するところから目を付け、チャンスを狙っていた模様。

場所 オークランド市内のストリートパーキング

被害者 日本人男性（20代）

車の座席にカバンを置いたままレストランで夕食。3時間後、車に戻ると窓ガラスが割られバックがなくなっていた。パスポート、洋服、家の鍵などが被害に。